

Q: 消防団組織の再編について

A: 機能的に活動できる消防団の再編等を行う。



窪 佳秀議員

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

消防団行政について

窪 洪水・土砂災害等、格納庫として不適当な格納庫の現状について伺う。

危機管理監 調査した結果、今後対策が必要な格納庫を数か所確認している。災害想定ハザード内に設置されている格納庫は27か所ある。

窪 消防団格納庫は、有事の際、消防団員の待機場所でもある。代替え待機場所が必要であるが、考えについて伺う。

危機管理監 団員と住民が協議し代替え待機場所を検討していく。

窪 消防団格納庫の改修計画について伺う。

危機管理監 建築年数の古い建物から随時更新している。今回の調査を踏まえ、団員・住民の意見を聞き改修を検討していく。

窪 消防団車両の更新基準

について伺う。

危機管理監 購入後約30年経過した車両から更新している。旧五條市内にある分団については、各分団に1台のポンプ車を配備する申合せにより車両の配置換えを行っている。

窪 消防団車両の配置は、管轄する地域・消防水利に応じた車種を選定し更新する必要がある。該当する消防分団の意見を聞き、更新をお願いする。

窪 消防団組織の再編について伺う。



消防団組織の再編について

窪 消防団組織の再編について伺う。

危機管理監 再編計画を作成し進めている。消防団を60部から52部に、また7分団の五つの部をひとつに統合することを目指している。

窪 団員の退団や入団者の減少に伴う統合では進展がない。市全体としての再編計画が必要である。市長の考えを伺う。

市長 防災行政を考えると、消防団組織は無くてもならない存在である。将来設計を進め、機能的に活動できる消防団組織の再編等を行う。

窪 消防団組織の再編は、必要としている団員・自治会の意見を聞きながら、検討委員会を立ち上げ協議をお願いする。

公共施設のトイレの現状について

窪 都市公園等のトイレの和式・洋式の現状について伺う。

都市整備部長 洋式の便座

の割合は25・58%である。

窪 生活様式の変化に伴い、幼児期から洋式の便座に慣れ、また高齢になるにつれ洋式の使用が主となっていることから、今後洋式の便座の割合を増加していきたい。

窪 地区公民館、地区体育館のトイレの洋式・和式の現状について伺う。

教育部長 地区公民館の洋式便座の割合は50%であるが、洋式便座が1台もない公民館は4館ある。地区体育館のうち、洋式便座が1台もない体育館は4館ある。

窪 地区公民館や地区体育館の中には避難所となっている所もある。災害弱者が利用する観点から計画的に洋式に改修する必要がある。考えを伺う。

都市整備部長 洋式トイレの必要性は認識している。緊急性や施設の状況を考慮し、計画的に進めていく。

Q: 共同墓地の自然災害復旧助成制度創設について

A: 重要な案件として前向きに検討してまいる。



山口耕司議員

6月2日の線状降水帯による共同墓地の災害について

山口 6月2日に、靈安寺町内「最初坊墓地」において、上段の石垣や通路及び墓標等が崩落した。この墓地を管理する「最初坊墓地管理委員会」の組織はあるものの、多額の運営資金はなく、復旧工事を捻出するのに苦慮している。

地域で管理する共同墓地の数と、このような災害に対して助成する制度創設について見解を求めめる。
産業環境部長 市内69か所で、豪雨などにより被災した共同墓地の復旧に対する補助は無いが、今後、財政状況を踏まえ、他自治体の事例等を参考にし、調査研究を行ってまいる。

山口 五條市においては、公営墓地の数が限られており、共同墓地の位置付けは大変重要である。

最初坊墓地は約360年前から存在し、220〜2

30基の墓があり、所有者は全国に点在していると聞かせていただいた。

補助金助成制度の創設と今後の共同墓地の維持管理について、市長に所見を伺う。

市長 重要な案件と考える。少子高齢化に伴い、地域コミュニティ組織の弱体化が懸念される。助成制度については、地区においても復旧を協議いただき、市としても前向きに検討してまいる。

奨学金返済制度「全額肩代わり」を推進し、大学生等の地方定着の促進について

山口 利用者の負担軽減に向け、返還を「肩代わり」する支援制度が、2020年6月に拡充された。

地方創生の観点から、若者の地方定着を促す「本制度」を五條市でも実施することが必要であると考える。

市長 本制度創設については、人口減少を抑制し、地域社会の担い手の減少や地

域経済の縮小を少しでも抑制できるよう、他団体の導入事例や効果的な実施方法などを調査研究してまいる。

視覚障がい者のための「音声コード」の利用促進について

山口 音声コードとは、QRコードと同じ、印刷物上の切手大の二次元コードで、1コードに漢字を含めた約800〜1,000文字の活字情報が入り、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末や専用機器を使って活字情報を音声で読み上げ、誰でも情報を得ることができ



国や地方自治体などから送られる公的な通知文書や広報などの印刷物、また年金や医療、各種保険などのお知らせ、公共料金の通知書類などには音声コードの記載が必要と考えるが、活用・導入について見解を求め

市長 無償で提供されている「音声コード読み取りアプリ」を活用することにより、誰もが音声で情報を得る有効な手段と考える。市民への合理的配慮の点からも、市政情報発信などにおける音声コード活用について調査研究してまいる。

その他の一般質問

- ◆ 带状疱疹ワクチン助成について
- ◆ 学校における献血教育について
- ◆ エアコンを導入して安心して運動が出来る体育館について
- ◆ 商品の軽自動車、課税減免について

Q: 激甚災害復旧工事の農地被害の再申請について

A: 現在の状況では、制度上難しいと考える。



大谷龍雄議員

激甚災害指定決定でかさ上げされた補助率に基づく災害復旧工事の推進について

大谷 6月3日の豪雨により、広範囲にわたって大きな被害が発生した。農地被害調査についてはすぐ聞き取り調査に入り、復旧工事の負担については、国約50%地主約50%と説明したところ、復旧工事を希望された方が13件、負担の大きさ等で希望されなかった方が15件となり、このことを6月16日までに県と国へ申請している。その後大変遅れて8月25日に内閣府が激甚災害指定決定を発表した。この復旧工事の負担割合は国96%、地主4%である。この負担割合を6月16日までの聞き取りで復旧工事を希望されなかった皆さんに再度説明し、意向を聞かせていただき、希望者を県、国へ申請するのが、行政の

責任ではないか。
都市整備部長 現在の状況では、制度上難しいと考えている。



避難体制の充実について

大谷 6月2日、3日の豪雨災害では多くの方々が避難されていたが、空調設備や掛布団、食事等はどういうであったのか、またペット避難の受入れはどうなっているのか。
危機管理監 冷暖房設備は公民館等では完備しているが、体育館は未設置なので、大型扇風機を2台ずつ設置した。毛布については一人一枚を基本に準備している。

食事については長期避難が必要な災害時以外は非常食等の提供は実施していない。ペットの避難については避難所運営マニュアルに基づき運用している。

子ども医療費現物給付助成の拡充について

大谷 令和4年11月14日の五條市臨時会において、令和6年8月をめどに県内市町村統一して、子ども医療費現物給付対象年齢を小学生まで拡大することに合意したと報告があったが、見通しはどうか。



すこやか市民部長 令和6年8月から小中学生の県内現物給付開始実現に向け進めている。

学校給食費無償化の復活について

大谷 令和4年12月から令和5年3月末まで、国の交付金を活用して無償化され、その後給食材料の高騰に伴い給食費の値上げが余儀なくされたが、値上げ分は市が負担し、保護者負担にせず頑張ってくれているが、子供の健康対策や保護者の教育費負担の軽減のためにも、給食費の無償化が必要になっているので検討されたい。
教育部長 国、県に給食費無償化を要望していくとともに、国の交付金を活用して給食費無償化の実現に取り組む。





秋本直嗣議員

Q: 避難所へのペット受入れについて

A: 五條市避難所運営マニュアルに基づき実施している。

避難所へのペットの受入れについて

秋本 現状を伺う。

危機管理監 ペットの避難については、従来は県のマニュアルを準用していたが、現在は令和5年5月に策定した五條市避難所運営マニュアルに基づき実施している。

秋本 ルールについて伺う。

危機管理監 避難対象となるペットは、犬や猫だけに限らず小動物など多種多様である。ペットは原則、避難所の居室スペースへの持ち込みは禁止している。同伴での避難時については、避難所ペット登録台帳に記入し、敷地内に専用スペースを設け、適切なお世話を飼い主にお願ひし、他の避難者とトラブルにならないようにお願ひしている。

秋本 周知について伺う。

危機管理監 避難時のペット同伴でのあり方や飼い主

の責任などに関する周知としては、毎月掲載している防災トピックスに加え、昨年9月号で防災特集ページを掲載している広報紙、公式LINEなどを通じて行っていく。



職員の負担軽減について

(1) 対応について

秋本 庁舎において職員の勤務時間と庁舎の出入口（シャッター）の開閉の間にズレがあるように感じるが、実際に勤務時間外で来庁者対応を行なっている事例等はあるのか。

総務部長 そのような事例を把握している。

秋本 市民の利便性向上、

また職員の負担軽減のため、例えば勤務時間と出入口の開閉時刻を同じにするというようなことはできないか。

総務部長 シャッターの開閉については五條市庁舎管理・運用ルールに定められているが、市民の利便性向上や職務上必要であると認められる場合は改正することは可能である。

秋本 以上を踏まえ、市長の考えを伺う。

市長 就任以来、職員の配置等窓口改善に向けた指示は随時行なっている。また、市民の利便性向上や職員の働き方改善に向け、今回の提言も併せて総合的に判断していく。

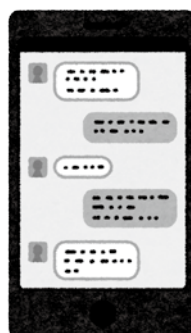
(2) 予約制の導入について

秋本

窓口業務の予約制の導入状況について伺う。

総務部長 これまでの実績としては、税務課において

混雑が予想される確定申告時の予約について、昨年度から試行的に公式LINEによる運用を実施した。



秋本 通常の窓口業務にも導入を検討できないか。

総務部長 昨年度の結果に基づき、市民にとっては利便性が向上する一方、業務量が負担となる部分も課題として確認された。これらを踏まえながら、通常業務の予約制に関して有効な手立ての検証を進めていく。

その他の一般質問

◆カウセンリングの現状について

◆インボイス制度について

Q：給食費無償化の実現について

A：まずは12月から3月までは地方創生臨時交付金を活用して行い、それ以降も実施していく。

藤富美恵子議員



給食費無償化の実現について

藤富 市長の公約の一番目に子育て支援として「給食費の無償化」が掲げられている。実現の見通しを伺う。

市長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、できればまず12月から3月まで実施する。

無償化については、来年度からやっていく方向で今進んでいる。

藤富 給食費の無償化を続けていけば、五條市で子育てをしたいという方々が増え、また、他市へ引っ越す方も少なくなるのではないかと思う。

スクールバスについて

藤富 市長は、議員の時に「スクールバスに空席があるので乗せてほしい」という市民の皆さんからの要望を前市長に何度も提案されていたが実現しなかった。市長選挙の演説で「これ

は市長の判断でできる。」「市長になったらすぐ取り組む。」と言われていた。当選されて4か月が過ぎた。どうなったか。

市長 7月14日から生子地区の中学生が乗車しているところである。

五條市に訪れてもらえる町づくりについて

藤富 市長の公約、「五條市に訪れてもらえる町づくり」のなかで、名所・旧跡に花いっぱい運動の推進、そしてみどり園の跡地に二つ目のふわふわドームの整備を公約しておられた。今後の計画について尋ねる。

市長 上野公園に花いっぱい運動で、花があれば多くの方々に来ていただける。そんな町づくりも良いのではないかと考えている。

藤富 私も、これまで「花の町五條市」を何度も提案してきた。四季折々の花を名所・旧跡に植え、一年を通して五條市を訪れてもら

える町づくりを推進していただきたい。

また、みどり園の跡地を放置しておくのではなく、桜やあじさい等を植え、市長の公約のふわふわドームや遊具などを置けば、5万人の森公園や博物館もあり、相乗効果で五條市に多くの方が訪れてくれ賑わうのではないかと。

上野公園の池にスイレンの花も咲かせていただきたい。

市長 みどり園の跡地は、令和9年度まで水質検査を要するという現状であるが、しっかりと計画を立て、前の5万人の森公園と連携できるような賑いのできる場所にしていきたい。

図書費の増額と「まちなか図書館」について

藤富 今後新しい図書館等も建設されるということである。将来に向け充実した図書館としていくためにも、図書費を増額していただきたいと思うが、いかがか。

市長 今後さまざまな観点から、十分検討を行ってきたい。

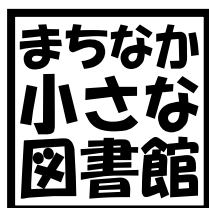
藤富 みんなで市民交流施設を考えるとということで、「遠足型ワークショップ」に参加した。京都市の立誠小学校の跡地には、小さな図書館が造られていた。

五條市にも、誰でも気軽にフラットと立ち寄れる、市民が利用しやすい「まちなか図書館」を提案させていただく。

市長 図書館以外の場所でも読書に親しんでいただけるよう検討してまいりたい。

藤富 図書館には、除籍図書がたくさんある。それらを活用して、五條市に「まちなか図書館」を何か所も作っていただきたい。

本に親しむ環境づくりに取り組んでいただきたい。



Q: 地域で行われるイベントへの市の支援について

A: 公式LINEなどでの周知等により可能な限り支援してまいりたい。

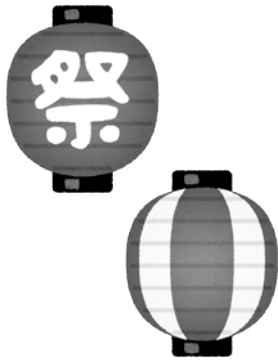


仲山 嘉議員

地域イベントについて

仲山 自治会等地域で行われているイベントは、屋台を楽しんでもらえるよう低価格で提供し、費用は地域住民の方々が負担しておられるが、この状況では持続が難しいと思う。市の考えを伺う。

総務部長 地域で行われているイベントは地域振興や地域コミュニティの活性化等において重要であり、持続可能な地域づくりにおいては欠かせないものであると考えている。



仲山 市の支援について伺う。

総務部長 広報紙や公式LINEによる周知等により可能な限り地域の活動を持

続していけるよう支援してまいりたい。

仲山 赤字運営で、このままではイベントの存続が危ぶまれる。

活動費用については、自治総合センターのコミュニティ助成事業の活用等、前向きな検討をお願いする。

公共施設のネーミングライツについて

仲山 ネーミングライツは、施設等の命名権を売却することでその施設等に愛称として企業名などを付けることができる制度であり、歳入確保の点において有効な手段であると考えているが、市の考えを伺う。

総務部長 歳入の確保において有効であり、行財政改革の一環として取り組む課題の一つと認識しており、他市の状況等も踏まえ検討を行っているところである。

仲山 シダーアリーナ、上野公園、各公民館など積極

的にネーミングライツの導入に取り組んでいただきたい。

ふるさと納税について

仲山 ふるさと納税は、大幅な増収を得られる貴重な財源の一つであり、地域の特産品を全国にPRできるチャンスでもある。

令和3年度、4年度の決算額と今年度の見込額を伺う。

市長公室長 令和3年度は約1億3,140万円、4年度は約1億3,600万円、今年度は約1億9,000万円を見込んでいる。

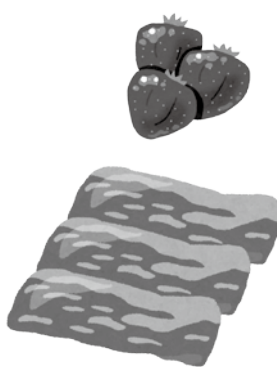
仲山 全国の1,700を超える自治体が特色ある地場産品を返礼品として寄附獲得に向けた取組を行っているが、本市の取組について伺う。

市長公室長 ポータルサイトを前年度の倍の6サイトとし、画像もブラッシュアップして魅力的に伝わるよ

う工夫している。

また、イチゴ等の果物や精肉の種類を増やし、年間間を通じて寄附を集められるよう努めるほか、新規登録事業者の開拓も行っている。

事業者等との協力体制を維持し、返礼品開発やポータルサイトの魅力化などに取り組んでまいりたい。



仲山 抜本的な見直しを提案したい。

コンサルティング会社の再検討、他の自治体にはない斬新な返礼品のアイデア、本市の名産物である柿のイメージ定着。これらに一丸となり取り組み、さらなる成果へとつなげていきたい。

Q: デジタル技術の活用による窓口業務の改善について

A: 市民にとっては利便性向上が期待できる。
プロジェクトチームで検討を進める。

福塚 実議員



五條市のDX(デジタルトランスフォーメーション)の取組について

(1) DXの現状について
福塚 五條市のDXの現状について伺う。

総務部長 総務省による「自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画」に基づき、窓口業務のワンストップ化を目指して若手職員によるプロジェクトチームを設置して、具体的な検討を進めているところである。

(2) 窓口業務の効率化について

福塚 デジタル技術の活用による窓口業務の改善について伺う。

総務部長 国においても「書かないワンストップ窓口」として、市民にとって「書かない」「待たない」「回らない」ことによる利便性向上が挙げられる。職員にとっても業務負担の軽減が期待できる。



自治会運営について

(1) 高齢化に伴う問題について

福塚 高齢化等に伴い、自治会運営が厳しい状況となっているが、五條市の状況について伺う。

総務部長

| | | |
|---------|--------|---------|
| 令和3年度 | 291自治会 | 8,615世帯 |
| 令和4年度 | 290自治会 | 8,407世帯 |
| 令和5年8月末 | 288自治会 | 8,200世帯 |

と減少傾向にある。

(2) 自治会サポートについて

福塚 高齢化に伴うゴミ集積場の増設について、距離や地形の問題などからゴミを持って行くのが困難な場合に、集積場の変更や追加

など対応してもらえるか。
産業環境部長 ゴミの集積場追加については、自治会長などから集積場追加変更届を提出いただき、ゴミ収集業者とも協議しながら、随時対応している。



福塚 耕作放棄地など、雑草の草刈りについて苦慮している市民がおられる。道路、歩道、水路へのはみだしなど様々である。市ができるサポートについて伺う。
産業環境部長 耕作放棄地

については、農地は所有者等が適正に保全管理することが原則となる。一方、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金の対象地域では、事業を活用し集落等共同で保全管理を行っている。

耕作放棄地を出さないために、農地中間管理機構を介して認定新規就農者、認定農業者、集落営農組織への農地集積、集約化を農業委員会と連携して進めていく。
インボイス制度への対応について

福塚 五條市のインボイス制度への対応について伺う。
総務部長 五條市においても事業者の立場から取引団体である民間事業者が仕入税額控除を受けるため、「適格請求書発行事業者」の登録が必要である。

福塚 五條市は、インボイス制度の中小企業への周知をどのように行っているか伺う。

産業環境部長 五條市商工会と連携して、税務署が作成したインボイス制度のチラシを、商工会の郵便物に同封して送付している。また、税理士を講師としてセミナー及び個別相談を2回開催し52名の参加があった。



Q: 配席変更と部長席のパーティション設置は、市民の声を広く聴きながら市政を推し進めることに逆行するのではないか

A: 組織として正しいあり方で対応していく。

岩本 孝議員

がん検診について

岩本 五條市のがん検診の種類について尋ねる。

すこやか市民部長 胃がん・

肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの集団検診と個別検診を実施している。

岩本 コロナ禍で受診率が減少したと認識しているが、

すこやか市民部長 令和2年度に受診率が低下したが、令和3年度以降は回復傾向にある。

対象者は1万500人で、胃がん検診の受診率は、令和2年度4.5%、令和3年度6.3%、令和4年度5.5%。同様に、肺がん検診は、6.7%、10.5%、9.0%。大腸がん検診は、10.7%、15.8%、12.8%である。

岩本 精密検査が必要な人で精密検査を受診しない人への対応は。

すこやか市民部長 未受診者へは電話や訪問等で受診

を勧めている。

岩本 アピアランスケア支援とはどのようなものか。

すこやか市民部長 がん治療による外見の変化に起因する患者の苦痛を軽減するための支援で、医療用ウィッグや乳房補正具の購入費用の助成を行っている。



市長の政治姿勢について

岩本 職員の配席変更と部長席のパーティション設置の理由を尋ねる。

市長 来庁者が窓口に来られたときに気付くのが遅れないよう、各課が自ら考え、配置を変更した。パーティション設置は、窓口でのトラブルが発生した場合、初

期段階で部長が対応を強いられ、組織上不適切であると考えた。

岩本 市民の声を広く聴きながら行政を推進することに逆行するように思うが。



市長 課長以下が十分市民の声を聴き問題解決することが重要で、解決できない場合に部長が対応するのが組織としての正しいあり方であると考えた。

岩本 「前市長時代に部長室を廃止したのにまた元に戻った。風通しも悪いし、開かれた市政と違う。」という声をよく聴く。市長は常々市民の声をよく聴きながら市政を推し進めると発言されているのに、少し違うと感じる。

岩本 市長の給料20%減額は、なぜ減額期間が任期4年ではなく1年とされたのか、改めて見解を伺う。

市長 先の6月定例会で答弁したとおりである。

岩本 市長の政治信条に基づいて1年間にしたということだが、1期4年が通常だと思う。4年間継続してほしい。

岩本 新金剛トンネルの進捗状況は。

市長 まずは本市で協議会を立ち上げ、時期を見て南和地域の関係市町村へ働きかけたい。

岩本 先日大阪南港へ行っただが、市役所から京奈和自動車道・南阪奈道路・阪神高速湾岸線を通って1時間程で着いた。

多くの市民が本当に望んでいる身近な問題、子育て支援、給食無償化などに最優先で取り組んでいただきたい。